

☆質問・疑問に答える（その1）

中間テストが終わり、修学旅行が間近に迫ってきました。クラスでの取り組みや個人の準備は進んでいるでしょうか。当日を充実した日々にする為には準備が大切です。

さて先月、進路意識調査ではさまざまな疑問や質問を書いてもらいました。これから何回かの進路通信では、君たちや保護者の皆様の疑問や質問に答えていきます。

ただし、現在の時点でははっきりと答えられないものもあることをご了承ください。また今後のHRでも進路学習をしていく予定です。年間のスケジュールは、先日配布した進路通信VOL.2を参照してください。

【全般的な事】

Q、今の成績では、どこへ進学できますか？

A、生徒・保護者の双方で、多かつた質問です。先生たちが三年生の進路を考えるにあたって、成績面で一番参考にするのは、

① 五段階の成績 ②8月と11月に行う実力テストということになります。

五段階の成績は一学期末にならないと出ませんし、実力テストもまだ行ってないので、現時点では成績面の話は、はっきりと言えない、ということになります。ただ一つ言っておきたいのは、高校に合格することがゴールではない、ということです。「今の成績で入れる高校」に入学したとしても、高校生活を楽しめるかはわかりません。なぜならその人にとっては「高校に入ること」がゴールになってしまっているからです。一方で志望校を決めている人は、「高校で〇〇をしたい！」「△△をするために高校へ行きたい！」という目標があります。だから今の勉強も頑張れますし、入学してからも目標を達成するためや、かねてからやりたかったことをするために高校生活を前向きに過ごします。来年の4月以降の生活を充実したものにするためにも、高校で何をしたいかをしっかりと考えておきましょう。また自分の成績と照らし合わせて学力的にどの高校が良いかがわからないときは、積極的に担任の先生や進路の先生に質問しましょう。そこで得られた答えを参考にして進路先を決めていくとよいでしょう。

二学期の半ばになれば、どんどん成績面の話もします。そのときに前向きな話ができるように、普段から真剣に授業を受け、毎日の授業の復習等に力を注いでください。時間に余裕があれば、1、2年で学習したことの復習も始めておいてください。二学期は文化祭や体育祭の取り組みで忙しくなるので、復習に充てられる時間は極端に少なくなります。今から始めて夏休みが終わるまでには1、2年の復習を終わらせておきましょう。

今の時点で不安を感じている人が多くいると思いますが、日々の復習やオープンスクールへの参加等、少しずつ行動することで不安は和らぎます。その過程で志望校が決まれば、より前向きに進んでいけることでしょう。

まだ先の話になりますが、五段階の成績と実力テストの結果が出る10月から12月まで、志望校決定に向けて集中的に教育相談をしていきます。そして二学期末の懇談で私学の受験校と公立特別選抜を受験する人はその受験校を、三学期に公立一般選抜の受験校を決定するという日程です（三学期の懇談は希望制の予定です）。今のうちから志望校が決まっている人も、そうでない人も条件は同じです。ゆとりをもって自分の進路に向き合うために、将来何をしたいのかをしっかりと考え、高校のオープンスクール等に参加して、進路を決定していきましょう（オープンスクールの案内は日々配布しているプリントや高校のホームページを見てください）。



Q、公立高校受験の仕組みを教えてください。

A、まず前提として、公立高校を受験する場合は合格したら必ず入学しなければなりません。

先ほどの質問の回答でも述べたように、受験は2月に行われる特別選抜と3月に実施される一般選抜があります。

高校によって特別選抜での入試か、一般選抜での入試かは

異なります（「普通科」や「文理学科」は全て一般選抜です）。

志望校の受験時期がわからない場合は、自分で調べたり先生に尋ねたりしてみてください）。

特別選抜で受験して合格したら一般選抜は受けられません。もし一般選抜の高校が第一志望だという場合、特別選抜を受けてはいけません。もし合格すると第一志望の高校を受験できなくなります。特別選抜で受験する場合は、「一般選抜へ向けた練習」で受けるのではなく、「絶対にこの高校に行きたい！」という気持ちで臨むようにしましょう。

また、試験や評定の点数配分、問題の種類などについては仕組みが複雑なので後日の通信で詳しくお知らせします。

Q、進路決定や変更の期限・タイミングを教えてください。

A、私立と公立特別選抜の受験校決定は二学期の懇談です。それまでに担任と教育相談をするので、志望校変更の相談はそのときにするのがよいでしょう（中学校としては進路保障を最優先に考えるので、どこを受ければいいかわからないとか受ける高校を迷っているという場合、特に私立高校の決定や公立だけを受けるといった人に関しては、合格の可能性が高い学校を勧めます。ただし、必ずしも中学校が勧める高校を受けなければならないという決まりはありません。家族で話し合っ得できる進路を選んでください）。

公立一般選抜は三学期の懇談期間に決定します。私立の結果によって受験校を変更するという人もいますが、そういった場合でも「なぜその高校に行きたいのか」「その高校へ行って何をしたいのか」という目的意識を常に持って置き、今のうちから「高校に行く目的」を持って高校を選びましょう。そして学校説明会やオープンスクールに参加して、自分がしたいことがその高校でできそうかを確認しておきましょう（いくつかの高校のオープンスクールに参加してから、志望校を決めたり変更したりするのが一般的です）。そうすることで、進路変更する際に納得して変えることができます。決して「周りの人が良いといっているから」とか「有名だから」というような理由で安易に志望校を変更しないようにしましょう。そのような理由で変更すると、進学先で困難に直面したとき、きつと後悔します。

これからあなたが歩む人生です。進路の決定・変更は期限直前で慌ててするのではなく、今のうちからしっかりと進路を考えて納得してからするようにしましょう。また、教育相談で担任の先生に伝えた進路から変更する場合は、変更が決まった段階ですぐに担任の先生に教えてください（担任の先生はクラスの生徒一人ひとりの進路を時間をかけて真剣に考えます。期限直前の

変更だと、君たちの今後について十分に考えることができない可能性があります。自分の人生を大切にす為、進路変更するときはすぐに担任の先生に伝えましょう）。



